

【KV-BIKE】ブリーフィング資料

■ ONE LAPタイムアタック【国際レーシングコース 東コース】

1. 走行スタート順は、整列順とする。
コントロールタワー前のスタート位置(32番グリッド付近)からオフィシャルの合図(日章旗)により、国際レーシングコース東コース1周をKV-40と比べて逆走(以下、KV-BIKEではこの走行方向を「順走」と定義する)でのタイムアタックを開始する。
2. 約15秒～20秒間隔でコースインする。
最終スタート時刻11時05分に間に合うように車両をスタンバイさせ、スタート位置に整列できるよう準備すること。
3. 東コースを周回してホームストレートに戻り、コントロールライン(タイム計測ライン)でチェッカーを受け、完走扱いとなる。
その後は、徐々にスピードダウンし、PITレーン入口を逆走しオフィシャルの誘導に従い、**PIT50にて車両を預けて終了となる。**
この際、ピットレーンはPIT50に到着するまでは黒いアスファルト部分を通ること。ピットロードの白いコンクリート部分を通るとペナルティ対象となる可能性があるので注意すること(図2)。
4. 競技中、完全に停車させた状態で、充電側ブレーカの復帰作業を行うことができるが、必ず電池の温度や固定の状態を確認し、安全を確保した状態でブレーカのカバーを開けて作業すること。
5. トラブル等により車両が止まった場合は、車両をコース外へ移動させ、安全な場所に退避すること。完走できなかったチームはONE LAPタイムアタック終了後**30分以内に、ピットビル2階大会事務局まで出走嘆願書を提出することにより30minトライアルに順位賞典対象外として出場できる。**
6. ONE LAPタイムアタックの競技時間は30分間。最終出走時刻の11時05分から10分後に競技終了となり、**各監視ポストにて赤旗が表示される。**
この時点で完走できなかったチームはレッカーによる回収の対象となるため走行を中断し、待機すること。
7. 完走したチームは車両保管の対象となるので、終了後速やかに競技車両を**PIT50へ持ち込むこと。**



図1 ホームストレート上パイロン線

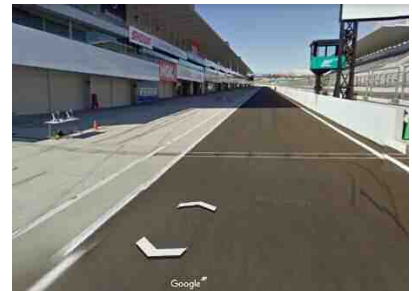


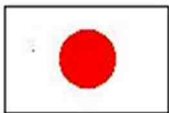
図2 ピットロード

■ 30minトライアル【国際レーシングコース 東コース】

- 1.別紙スタート進行表を確認すること。
- 2.スターティンググリッド(スタート順)は、ONE LAPタイムアタックの結果順となる。
別途発行されるスターティンググリッド表を必ずご確認ください。
- 3.コース上でブレーカの復旧作業以外で停車し足をついた車両はその時点でオフィシャルへ「リタイア宣言」を宣告し、距離認定を受けること。これにより「リタイア宣言」を行った地点までの距離が走行距離として認められる。走行距離の計測は、基点(各オブザベーションポスト)から前輪の接地点までとなる。
なお距離認定を受ける前に車両を動かしたと判断された場合はペナルティが科せられることがある。
また、「リタイア宣言」をした車両も、賞典外として競技に参加することができるが、リザルトにはリタイア時点の距離が記載される。
- 4.ピットインのタイミングやライダー交代は自由。ピットイン時の押歩きは認められる。
また、ピット入口から出口までの距離は走行距離としては認められない。
ピット入口および出口は赤いパイロン位置によって示される。
- 5.チェッカーが提示される5分前にピットロード出口は閉鎖される。
- 6.30分経過時点で、トップ車両の位置に関係なく、ホームストレート上フラッグ台にてチェッカーフラッグが5分間提示され、コース上では赤旗が提示される。コース上では、チェッカーフラッグ提示終了時刻まで放送にてカウントダウンを行う。チェッカーフラッグ提示終了時刻に、急な下り坂を走行している場合は、徐々にブレーキをかけて安全に停車すること。
- 7.チェッカー・赤旗が提示された時点でコース上にいるチームのうち、走行距離の長いものから順位を付す。
走行距離が同じチームは、コントロールラインを通過したタイムで順位が決定される。
チェッカー・赤旗提示中にコントロールラインを通過できなかったチームは、チェッカー提示から5分後の地点までが走行距離として認められる。この場合の走行距離は公式通知No.4に基づいて、コース上に配置されているオフィシャルにより確定され、コース上にて止まった位置の距離認定用紙がライダーへ渡されるので、ライダーは距離認定用紙に署名しそれを大会事務局に競技終了30分以内に提出することで、順位認定が行われる。
- 8.競技を終了した車両は、オフィシャルの誘導に従って徐々にスピードダウンし、PITレーン入口を逆走してPIT50にて車両検査を受けなければならない。
- 9.競技中にSTOPした車両は、競技終了後のレッカー回収対象となる。
ライダーは車両を安全な位置に移動し、退避すること。
- 10.ライダーをはじめ全ての参加者は無理をせず、十分な水分補給を行い、熱中症予防を怠ってはならない。

本競技に使用するフラッグ

【日章旗】



競技スタート合図の旗

【ホワイトフラッグ(白旗)】



競技車両以外の走行車両あり。
前方に注意して走行。
走行距離認定のオフィシャルカー、救急車
レスキューカー等の車両が走行する場合あり。

【イエローフラッグ(黄旗)】



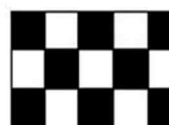
前方に低速車及び停止車両あり。
前方に注意して走行。

【レッドフラッグ(赤旗)】



競技の中断。
ライダーは直ちに速度を落とし、
必要に応じて停車できる態勢をとること。

【チェッカーフラッグ】



競技終了

以上